

1) 概略

科目名称	地域課題演習	単位数 4単位
テーマ	様々な事象が地理的、歴史的、文化的、さらには経済的、科学技術的な文脈に深く埋め込まれ、かつ、今後はグローバルにもつながることが想定される地域企業の課題解決のための仮説検証	
講義内容	「地域の課題Ⅱ」の講義内容を踏まえ、地域企業の課題解決につながるプロジェクトを実践する。仮説検証を繰り返し、環境を変化させることを通して、新たな知を生み出すプロセスを体験的に学ぶ 担当教員はこれまで全国の実践型インターンシップ等のプロジェクト型学習の設計や運用支援に長年取り組んでおり、そのノウハウを活用してこの授業を実施する	
達成目標	地域企業の課題解決プロジェクトを実践し必要な成果を生み出す。その過程で、既有的知識を組み合わせることで事象を解釈し、①目標達成能力、②意思決定能力、③協働能力を強化し、新たな知を生み出すための仮説検証ができるようになる	

2) 講義スケジュール(予定)

	枠組	概要	事前事後の学修
第01回	ガイダンス、プロジェクト理解	ガイダンス:この授業の目的と到達目標、内容、学び方、留意事項について詳しく説明し、参画企業の概略を紹介する 評価指標の提示:この授業の評価指標を示し、各項目について具体的に説明する プロジェクト理解:地域企業で取り組むプロジェクトの内容を理解し、自分が取り組むプロジェクトを定める ※事前アセスメントを実施	【事前学修】シラバスを事前に読み、その内容を理解する 【事後学修】自らが参画するプロジェクトの仕様書を読み取組姿勢について考察する
第02回	目標設定	実践型インターンシップのコーディネート及び研究の経験から設計した、以下のグループワークに取り組む 対話型グループワーク:自らが課題解決プロジェクトに取り組む意義や理由を言語化し、共有する 討論型グループワーク:自らが取り組むプロジェクトの成果目標に対して、達成のための仮説を設定し、行動計画を策定する。策定された行動計画に対し、相互に妥当性を議論する	【事前学修】自らが取り組むプロジェクトの仕様書を読み込み、不明点を自分なりの方法で調べ、宿題シートにまとめる 【事後学修】授業の内容を踏まえて自らの行動計画を策定する
第03回	関係性構築	演習実施企業での日常業務に参画し、当該企業の関係者との間に協力的な関係性を構築する	【事前学修】自らの行動計画を策定し、演習実施企業に提出する 【事後学修】定められた様式・方法で日報を提出する
第04回 第05回	関係性構築	演習実施企業での日常業務に参画し、当該企業の関係者との間に協力的な関係性を構築する	【事前学修】当日の実施項目について優先順位をつけて行動計画を定める 【事後学修】定められた様式・方法で日報を提出する
第06回 ～ 第08回	企業の現状把握	演習実施企業での日常業務に参画し、当該企業の現状と事前情報の間に差異がないかを確認する	【事前学修】当日の実施項目について優先順位をつけて行動計画を定める 【事後学修】定められた様式・方法で日報を提出する
第09回 ～ 第14回	仮説検証	演習実施企業での日常業務にも参画しつつ、当該企業の課題解決のための仮説検証に取り組む	【事前学修】当日の実施項目について優先順位をつけて行動計画を定める 【事後学修】定められた様式・方法で日報を提出する
第15回	中間モニタリング	実践型インターンシップのコーディネート及び研究の経験から設計した、以下のグループワークに取り組む 対話型グループワーク:これまでの企業現場での実習を通して、自己の内面にどのような変化があったかをふりかえる 討論型グループワーク:これまでの企業現場での実習をふりかえり、課題解決のための行動や仮説の修正点を抽出する。その上で、新たな行動計画を策定する	【事前学修】これまでの演習での取組内容をモニタリングシートに記入する 【事後学修】自らの新たな行動計画を演習実施企業に提出する
第16回 ～ 第29回	仮説検証	新たな仮説と行動計画に基づいて、演習実施企業での日常業務にも参画しつつ、当該企業の課題解決のための仮説検証に取り組む	【事前学修】当日の実施項目について優先順位をつけて行動計画を定める 【事後学修】定められた様式・方法で日報を提出する
第30回	最終ふりかえり	実践型インターンシップのコーディネート及び研究の経験から設計した、以下のグループワークに取り組む 対話型グループワーク:プロジェクトの成果目標に対する達成度や効果について、教員を交えて相互評価する 対話型グループワーク:演習の全プロセスをふりかえり、その中での体験がどのような学びに繋がったかを言語化し、共有する ※事後アセスメントを実施	【事前学修】これまでの演習での取組内容をモニタリングシートに記入する 【事後学修】授業内でのディスカッションを踏まえてふりかえりシートを完成させる

3) 成績評価等

成績評価方法	以下の方法で評価する。評価規準となるチェックリストを授業開始時に配布する。 日報の内容 50% ・日々の実習における事実関係が明確に記載され、それに対する意味付けが十分になされているかを確認し、個別にフィードバックを実施する ・自らの活動をふりかえるメタ学習の取り組みを通して、意思決定、協働、仮説検証の能力の向上を図るための形成的評価を行う ふりかえりの内容(仮説検証プロセス) 20% ・一定期間の取り組みを適切にふりかえり、それにもとづく新たな意思決定が十分になされているかを確認し、個別にフィードバックを実施する ・仮説検証に基づく意思決定能力の向上を図るための形成的評価を行う プロジェクト成果 30% ・実習開始時に設定した目標に対して、その達成度と、どのような仮説検証を行ったかを確認し、個別にフィードバックを実施する ・プロジェクト全体とその結果をふりかえることで、目標達成能力の向上を図るための形成的評価を行う
学修に必要な準備	この授業では実際の企業現場で課題解決に取り組む中で、仮説検証を繰り返します。与えられた課題をこなすのではなく、自ら仮説を立て行動を通して検証する過程で、自ら知を構築するのだということを理解して臨んでください
関連して受講することが望ましい科目	「地域の課題Ⅰ」「地域の課題Ⅱ」
テキスト、参考文献	使用しません
履修上の注意	この授業は地域企業の現場での演習が中心です。教育課程上では通年科目として設定されていますが、現場での活動は夏季休業期間中を想定しています。 詳細やオフィスアワー等については、ガイダンス時(5月～6月予定)に教員より説明します。ガイダンス日時は履修生に追って連絡します。 ※現実の企業課題に取り組ましますので、情報管理に関する教員の注意事項を守ってください。